電子くじについて

○　概要

電子入札システムでは、予定価格内で最低価格の応札者が複数いた場合、電子くじにより落札候補者を決定します。

①　応札者は、入札書提出時に３桁の任意の数字を「くじ番号」として入力します。
②　紙入札の場合は、発注機関の担当者が書面の入札書に記載された「くじ番号」を開札時に入力します。

○　電子くじの判定仕様

①　応札者は、入札書提出時に任意の３桁の「くじ番号」を入力します。
②　開札の結果、最低価格で同額の応札者が複数いた場合、電子くじによる抽選を行います。
③　最低価格が同額の応札者には、入札書の到着順に０、１、２、３・・・・の順に「入札書到着番号」を割当てます。
④　次の数式で得られた「余りの数字」と「入札書到着番号」が一致した応札者が落札候補者になります。

くじ対象の応札者が入力したくじ番号の和　÷くじ対象の応札者数

○　電子くじの判定例

A～F の計 6 社が参加した入札で開札の結果、以下のような A 社, B 社, C 社（紙入札）の計 3 社が最低価格で同額であったとします。

応札者	入札額	くじ番号	入札書提出日時	入札書到着番号
Ａ社	8,000,000 円	197	2004/12/11 10:22:00	1
Ｂ社	8,000,000 円	386	2004/12/10 11:00:57	0
Ｃ社（紙入札）	8,000,000 円	567	2004/12/13 10:03:20	2
Ｄ社	9,000,000 円	789	2004/12/12 09:07:31	
Ｅ社	10,000,000 円	999	2004/12/12 12:10:08	
Ｆ社	11,000,000 円	789	2004/12/12 11:26:43	

数式を用いて応札者が入力したくじ番号より、当選番号を求めます。

（　１９７　＋　３８６　＋　５６７　）　÷　３　＝　３８３　余り　１

↑ Ａ社　↑ Ｂ社　↑ Ｃ社　↑ くじ対象応札者数

上記の結果、余りは　１　であるため、入札書到着番号が　１　である、Ａ社が落札候補者になります。